

安倍文殊院(あべもんじゅいん)

校区(こうく)の北東にある安倍文殊院(あべもんじゅいん)は、古くから知恵(ちえ)の神様(かみさま)として知られています。大化(たいか)元年(645年)に建(た)てられたもっとも古いお寺の一つです。また、日本三文殊(にほんさんもんじゅ)の一つに数えられています。「三人寄(よ)れば文殊(もんじゅ)の智恵(ちえ)」のことわざでも有名(ゆうめい)な文殊菩薩(もんじゅぼさつ)で、日本最大(さいだい)(約(やく)7m)の国宝(こくほう)です。そのため、受験(じゅけん)の合格(ごうかく)や書道(しょどう)がうまくなることをねがっておまいりする人が多くいます。



阿部文殊院本堂(あべもんじゅいんほんどう)



文殊菩薩(もんじゅぼさつ)



仲麻呂堂(なかもろどう)



西門



草花で作られた干支(えと)